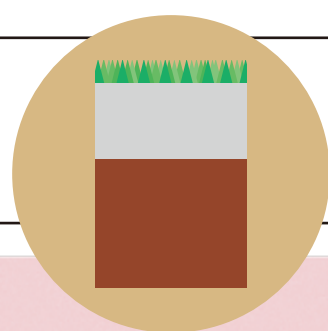


土・安定型



特徴

- ・土やマサ土でできている
- ・水はけが良い。

解説

床土として土(畑土)やマサ土を用いて造成されていても、強い踏圧がかからなければ土壌の固結は軽微で、目立った排水不良には至らないケースもあります。また、砂目土によって表層部に砂層が形成され多少の降雨であれば浸透する、勾配がしっかりとあるので表面排水ができている、等のケースもあります。しかし、見た目の排水は良くても、床土は固結していて芝の根の伸長を阻害し、ターフ密度の低下などを引き起こしている場合があります。芝の生育が不良な場合は、床土の固結を疑う必要があります。

対策

芝の生育に問題がなければ、これまでどおりの管理作業で特に問題はありません。芝の生育が悪い場合は、土壌調査を行い固結の度合いや深度を調べてみましょう。このようなケースでは、深さ10～20cm付近の土壌が固結していることが多いので、深層まで届く機械を使用して締め固まった土壌をほぐし、芝の根が伸びやすい環境を作ると良いでしょう。有効な作業としては、シャッタリング、ディープエアレーション、ドリルエアレーションなどがあります。芝の生育が旺盛になる春季に施工するとより効果的です。

